

対象年度		令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		個人番号カード普及促進事業						予算事業名		戸籍・住民基本台帳事務経費			
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	住民基本台帳法				
			02	03	01	0501	経常経費						
総合計画体系		5協働で進める持続可能なまちの実現(自治・行財政運営)						事業の区分		主要事業			
		5-3情報化社会に対応した行政体制づくり (市民生活・行政・情報											
		②市民生活の情報化推進						担当課係等		市民課 市民係			
2個人番号カードの普及													
事業期間		継続 (年度～令和 2年度)											
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
マイナンバー制度導入により、平成28年1月から交付が開始となった個人番号カードの普及促進を図る。また、住基カードから個人番号カードに切り替わることで、そのカード機能や将来展望などを見極めながら、全庁的視点でカードの利活用を検討し、機能の拡充を図る。													
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】						
・住民基本台帳カードの交付が終了することの案内 ・マイナンバー制度や個人番号カードの機能などについての周知 ・個人番号カード交付事務とその事務に向けた準備等 ・個人情報保護の強化、例規等の見直しや改定 ・情報のセキュリティ対策、特定個人情報保護評価等							市民(住民基本台帳に登録している住民)						
							【事業をとりまく環境の変化】 住民基本台帳カードが平成28年1月より個人番号カードへ切り替わり、新たなカードの普及推進に向けた取り組みが必要とされる。カードの機能面の利活用も含めて、全庁的な検討を要する。						
【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】					
・個人番号カードの交付 ・個人番号カードの普及促進				・個人番号カードの交付 ・個人番号カードの普及促進				・個人番号カードの交付 ・個人番号カードの普及促進					

■事業費									
			R01年度	R02年度					
財 源 内 訳	国	庫 支 出 金	6,916	7,195					
	県	支 出 金	0	0					
	地	方 債	0	0					
	そ	の 他	0	0					
	一	般 財 源	4,265	4,025					
歳 入 計 (千 円)			11,181	11,220					
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)		金額 (千円)	金額 (千円)					
	08	旅費	0	7					
	10	需用費	3	0					
	11	役務費	14	65					
	12	委託料	4,077	5,018					
	18	負担金補助及び交付金	7,087	6,130					
歳 出 計 (千 円) (A)			11,181	11,220					
伸 び 率 (%)				0.34					
備 考	総合計画142ページ 予算書58～59ページ								

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	住民への周知（お知らせ版・ホームページ）	回	目標	3.00	3.00	3.00
			実績	2.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	年間カード交付件数	件	目標	6,600.00	10,100.00	14,000.00
			実績	6,300.00	0.00	0.00
	人口に対する普及率	%	目標	12.00	20.00	30.00
			実績	12.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	B どちらとも言えない	個人番号の確認と本人確認を同時にできる。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	カード交付については、行政以外に実施できない。
	手段の妥当性	A 妥当である	住基システムと継続性、統一性のあるシステムであり妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	機能拡充にはシステム改修等のコスト負担が大きく、経費、人件費も生じてくるため。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	全ての者に対し、適正に対応できる。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	マイナンバー制度全体の今後の展開によるため。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	マイナンバー制度全体におけるカードの利活用について、現在も整備検討中であるため。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
住基カードから個人番号カードに切り替わり、番号確認と顔写真付きの身分証明書としての機能をはじめ、カードの利活用について広報紙やホームページ等で周知しながら、普及促進を図っていく。カードの多機能化（利活用）については、国の動向を踏まえて、全庁的な取り組みの中で検討していく。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
個人番号カードの多機能化（利活用）については、今後も全庁的な取り組みの中で検討していく必要があり、国の動向や各自治体の状況を踏まえ、カードの普及促進を図る。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
方向性の具体的内容 マイナンバー制度導入に伴う個人番号カードの機能拡充、および利便性を市民に周知・理解してもらえるよう普及啓発に努める。さらにマイナンバーの申請補助を継続して行うことにより交付率の向上につなげていく。
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。